

# ぼいす

北区飛鳥山博物館だより

2013.3.20

# 30

春 期 企 画 展

## ボンジュール、ジャポン

ゆかしくカワイイ、和のかたちと風景

Bonjour, Japon ! Styles et paysages japonais gracieux et mignons



飛鳥園遊覧之図(部分)



ファッション・プレート「ためらい」伊藤紀之氏蔵



ファッション・プレート  
「ガゼット・ボン・トン」  
伊藤紀之氏蔵



フランス人の旅行記に描かれた王子の料理屋

会 期

平成25年3月16日(土)~5月6日(月・祝)

休 館 日

毎週月曜(4月29日・5月6日を除く)・4月30日

開 館 時 間

午前10時~午後5時

会 場

北区飛鳥山博物館 特別展示室・ホワイエ・講堂

観覧料  
無料

# ボンジュール、ジャポン

## ゆかしくカワイイ、和のかたちと風景

Bonjour, Japon ! Styles et paysages japonais gracieux et mignons

このたび北区飛鳥山博物館は、開館15周年企画展「ボンジュール、ジャポン ゆかしくカワイイ、和のかたちと風景」を開催するはこびとなりました。幕末・明治初期の王子、滝野川、飛鳥山は、都市と自然の境界に位置する環境・風土のなかにあり、当地を訪れた外国人たちからその景観の美しさを賞賛された花と緑の名所でした。本企画展はこれらの異文化交流の中でも、数多くの記録を残しているフランス語圏の人々の旅行記を通じてこの地域の魅力の再発見を行うとともに、異文化との出会いのなかで生まれたフランスのファッション・プレートに示されたジャポニスムの展開や、欧米のジャポニスムへの対応としてかたち作られた輸出工芸品の姿を通じて、文化の受容と選択、そして変容の姿をご紹介します。今日、世界中でクール・ジャパンと呼ばれる日本のポピュラー・カルチャーへの関心が高まっています。展示では、かつてのジャポニスムと通底するゆかしさとカワイイものへの共鳴と、和の力のひろがりについても言及する一方で、幕末、日本最初の仏和辞書を編纂し明治時代初期、王子に住まいしたフランス語学の先駆者・村上英俊の著作を通じて、異文化の架け橋となった事績もご紹介いたします。このささやかな展示を通じて、ご来館のみなさまに日本から世界に向かって発信された幕末・明治初期のイメージに触れていただき、文化交流の多様性を再考する一助になれば幸いに存じます。なおこの展示は平成24年10月、北区滝野川に全面移転した東京国際フランス学園を記念し企画されたものです。未来にわたって地域の人びととの旺盛な交流の実現と、稔り豊かな展開を願ってやみません。(石倉)

後援 フランス大使館

協力 東京国際フランス学園・栃木県立文書館・大田原図書館・大田原市那須与一伝承館・株式会社 Yohji Yamamoto・金子皓彦氏(日本輸出工芸研究会会長)・白幡洋三郎氏(国際日本文化研究センター教授)・伊藤紀之氏(共立女子大学名誉教授)・坂崎幸之助氏(THE ALFEE)・吉田和実氏・長谷川操氏



江戸自慢三十六興 日本橋初鯉



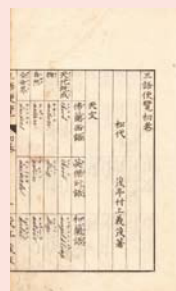
明治初期東京名所写真 亀戸天神 坂崎幸之助氏所蔵

### 企画展：この資料に注目！



#### シルク団扇

1. このシルク団扇は王子の料理屋を撮影したもので高級輸出土産品として横浜で作られました。しかし肝心の画面が裏焼きになってしまっているのはとても残念です。



#### 三語便覧

2. これは日本で最初の仏和辞書『三語便覧』です。独学でフランス語を習得した村上英俊が幕末に編さんしました。

# 移り変わる盛り場＝王子三業地

大地  
水  
人

扇屋、海老屋、蔦屋、藤屋、亀屋… かつて飛鳥山の麓から王子稲荷方向へ通じる日光御成道沿いには、江戸の人々に知られた料理屋が軒を連ねていた。名所・飛鳥山や由緒ある寺社が存在し、交通の便にも恵まれた王子の地は、行楽地であると同時に盛り場であった。人々は参詣や遊山を名目に、酒と料理に心を和ませ、芸妓の爪弾く三味線の音色に身を委ねながら、日常を忘れるひとときを楽しんだのであろう。

明治時代以降、王子の盛り場を支える客層は王子周辺に設けられた会社や工場、軍の関係者へと大きく変化する。少なくとも大正時代には、王子の料理屋街は二業地（料理屋、芸妓屋が集まる地）として大いに賑わっていたようだ。大正13年（1924）7月1日付「王子新聞」では「王子町花柳界 人気投票の戦況」として芸妓の人気投票を大々的に取り上げており、紙上には12軒もの芸妓屋の屋号が記されている。

昭和2年（1927）、王子駅の大規模改良工事にともない王子二業地は駅の北側への移転を余儀なくされる。移転地は東京製絨会社の跡地。明治20年（1887）、東京毛糸紡織会社として王子町229番地（現豊島1-1～1-23付近）に設立された同社は洋服用毛織物（ラシャ）の製造で業績を伸ばし、やがて製紙用フェルト製造も手がけた。17,900坪もの広大な敷地に1,500人近い従業員を抱える大工場だったが、関東大震災によって壊滅的な被害を受け、そこから立ち直ることはなかった。「紡績のハラッパ」と呼ばれた跡地が「新町」となり、昭和3年（1928）、王子二業地は同地への移転を機に三業地（料理屋・芸妓屋・待合が集まる地）として認可された。



王子新聞に掲載された芸妓の人気投票

そのころ、東京各地で次々と認可された二業地・三業地の設置に対して婦人団体や住民は反対運動を起こしていたが、その声は届かなかった。

戦時中こそ盛り場の灯りは消えたが、戦後すぐに息を吹き返し、昭和28年（1953）頃の王子三業地は100人近い芸妓で華やいでいたという。しかし、戦後の隆盛は長く続かず、会社や工場の移転によって主要な客層を失われていき、店も数を減らしていった。一方で、王子駅前を北東京一の大歓楽街とする計画が昭和25年（1950）に浮上していたが、このときは住民の反対運動が勝利する結果となった。やがて昭和58年（1983）、王子三業組合は解散に至った。

盛り場は人間の欲望を飲み込む場であり、安全であるべき日常の傍らには必ずしも望まれない。しかし、その存在が街に強烈な個性と活力をもたらすことも否めない。王子から消えていった盛り場も、この街のなかに何らかの香りを残しているに違いない。

（久保埜）

# 赤羽台古墳群に眠る人々

—石と埴輪から探る東国古墳文化—

本展示は、北区赤羽台4丁目(現、星美学園内)より発掘された赤羽台古墳群に注目し、古墳時代後期における北区をとりまく東国古墳文化について探った展示です。おかげさまをもちまして38日間で延べ6,789名の方にご観覧いただきました。

会期中には、関連イベントとして公開講演会やミュージアムトークのほかに、「埴輪と房州磯石の故地を訪ねる」として赤羽台3・4号墳の「埴輪」「横穴式石室石材(房州磯石)」のふるさとを探訪する野外講座を実施しました。これらはいずれも北区より遠く離れた地から搬入されたことがわかっているものたちです。…となると、そのふるさと巡りもひと苦労。

# Event Report

横穴式石室石材を訪ねた回では、北区より約70km離れた千葉県富津市まではるばる出かけました。朝10時にJR内房線青堀駅に集合し、午前中はその周辺に広がる内裏塚古墳群(多くの古墳で房州磯石が使用された古墳群)を巡り、午後には場所を更に南へ移し、JR大貫駅から磯根崎(石材の主要産出地)まで歩いていきました。この日の歩行距離は10kmを超えたと!?!でも東京湾に突き出した磯根崎の迫力はやはり“百聞は一見に如かず”でした。最後には東京湾に沈む太陽を眺めながら、古墳づくりに懸けた古代人の並々ならぬ想いに、1500年もの時を超えて一同で思いを馳せたのでした。(安武)



磯根崎で眺めるサンセット

## イベントレポート

# 東京9区文化財 古民家めぐり

# Event Report

平成24年10・11月にわたり「東京9区文化財古民家めぐり」を開催しました。東京23区の中で指定文化財の古民家を管理・公開している足立・板橋・江戸川・北・江東・杉並・世田谷・練馬・目黒の9区が合同して古民家にかかわる建築や民俗・歴史などを紹介するイベントです。一口に古民家といっても建てられた時代や地域でも違いがありますし、公的な役割を担う名主の家では、役目を果たすための出入り口や部屋がつくられたりします。こうした違いや共通点などを見比べながら興味を深めてもらおうと、各古民家で解説会もおこないました。それぞれの古民家には解説シートと古民家スタンプを準備し、スタン

プラリーをしながら古民家をめぐる工夫もしています。9区が集まって行うイベントも開催しています。平成24年10月3日から15日まで飯田橋の東京区政会館でおこなった「9区合同企画展〈来て見て発見！はじめよう古民家めぐり〉」では、各区の古民家にまつわる建築・民俗・農産物などをパネルや模型などの展示で紹介し、講演会も開催しました。期間中、会館を訪れた多くの方が足を止めて熱心に展示を見学してくれました。11月17・18日には練馬区立石神井公園ふるさと文化館で「9区合同解説会〈古民家の魅力伝えます〉」も開催し、クイズラリーや各区学芸員の講座などをおこないました。(山口)



東京区政会館での展示風景

北区は約3万年前から近代に至るまで、さまざまな人々の暮らしの痕跡がみつかり、当時の人々の暮らしの様子がわかる多くの資料が残されています。このような北区の悠久の歴史物語をわかりやすく、楽しく知っていただくために、平成10年3月27日、ここ飛鳥山の地に北区飛鳥山博物館が誕生しました。

それから月日は流れ、平成25年3月に当館は満15歳となります。その間、さまざまな活動を行ってきました。年2回の企画展や特別展覧会、夏休みの子供向けイベント、学校対応事業、年100回を超える各種講座・講演会など、年間を通してさまざまなプログラムを組んできました。また、平成22年3月には10年を超えた館のリニューアル

を行い、常設展示室の一部が新しくなり、新たに3階に飛鳥山アートギャラリーが開設されました。さらに区の組織改正によって文化財業務を担当していた文化財係がいっしょになり、新たな体制で幅広く歴史文化の発掘と保護、そして普及活動を行うようになりました。

さて、15年をむかえて博物館はさらに前に進んでいかなければなりません。これまで行ってきた活動の中で良いものは遺し、新たなことにもチャレンジする。このような姿勢で新たな一歩を踏み出していきたいと思います。みなさんと共に成長する博物館を目指し、“私たちの博物館”と呼ばれるようにいっそうの努力をしていきます。(鈴木)



みなさんといっしょに調べました  
(新・遺跡探訪実地踏査)



会議ではありません。これも  
講座です(北区史を読む会2)



未来の学芸員!? (中学校職場体験)

みなさんと共に歩みます!  
(講座「歩いて知る公園史」)



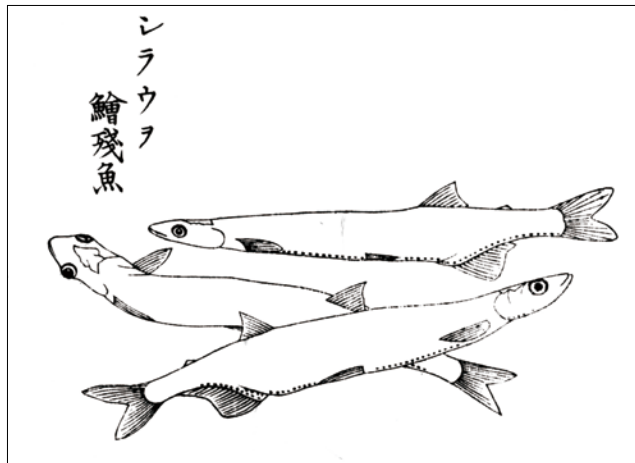
大人になっても覚えていてね、この感触(夏休み土器づくり教室)

## 資料紹介 白魚の話



本誌18号に続き尾張出身の本草学者伊藤圭介が文部省出仕時代の明治6年(1873)に著した『日本産物志』武蔵部下から紹介します。書にいわく「東京ノ名産ナリ長サ二三寸身扁ク織長ニシテ鱗ナク潔白唯眼睛ノ黒點アルノミ仲冬ノ頃ヨリ佃島ノ漁人夜ニ篝火ヲ點シ細目ノ罾ニテ之ヲ漁ス二月ノ頃ヨリ漸ク淡水ニ浜リテ其鱒ヲ産ス故ニ春月隅田川、宮戸川即浅草川ナリニ擋網ヲ以テ捕ル者多シ春末已ニ其鱒ヲ産スルガ故ニ形瘦テ其味モ亦劣レリ其鱒秋ニ至リ海ニ下リテ又鹹水ニ長スト云(下線部は割注)」とあります。佃島の篝火漁は古くから知られ明治初年には東京でも多く獲れたようです。海と川を行き来するサケ目の生態もよく記されています。尾久でも獲れた記録があるようですが、どこまで遡ったのでしょうか。春懐石では菜の花などと共に旬の食材として膳に上りますが、食すのが可哀相なくらい繊細で優美な趣があります。田端に居住していた室生犀星は大正7年(1918)に上梓した代表詩集『抒情小曲集』の冒頭に「小景異情 その一」として、

この魚を題材にした詩を載せました。「白魚はさびしや そのくろき瞳はなんといふ なんといふしほらしさぞよ そとにひる餉をしたたむる わがよそよそしさと かなしさと ききともなやな雀しば啼けり」(初出:『朱楽』大正2年(1913)5月号)。(中野)



服部雪齋画(当館蔵)



## 博物館インフォメーション



### 北区飛鳥山博物館は開館 15 周年！

北区民、そして来館される皆様に支えられ、当館は開館15年の節目を迎えることができました！誠にありがとうございます。そして両隣の博物館(渋沢史料館・紙の博物館)も飛鳥山公園に設置されてから15周年。3館の絆が深まった年月でした。今年も3館合同の事業を行いますので、どうぞご参加ください。

### 春の刊行物紹介

- ・春期企画展図録『ボンジュール、ジャポン！ゆかしくカワイイ、和の形と風景』  
企画展図録です。充実した内容・洗練されたデザインに仕上がりました。春期企画展の観覧に合わせてご購入してみたいかがでしょうか。(予価650円)
- ・『北区飛鳥山博物館研究報告 第15号』  
「北区指定文化財 旧松澤家住宅 修理工事報告」「写真資料に見る明治43年の大水害と北区域の被災状況」「資料紹介 横穴式石室に敷かれた貝塚―赤羽台3号墳出土貝殻の絶対年数について―」などを掲載しております。(予価600円)
- ・『文化財研究紀要別冊第22集 滝野川村戸部家文書調査報告書』  
滝野川村村長を務めた戸部家に伝わる文書の調査報告です。中山道の道路修理の記録や茶屋の並ぶ飛鳥山下の絵図面などの史料翻刻のほか、江戸時代の茶屋経営、幕末の滝野川大砲製造所・火薬製造所の設置をめぐる研究報告を収録しています。(予価700円)

### 消防演習を行いました

平成25年1月30日に、文化財防火デーに基づき消防演習を行いました。文化財防火デーは昭和24年(1949)1月26日に法隆寺金堂壁画が失火によって大半が焼損してしまったことを契機に始まった文化財の防災の日です。当館職員一同、王子消防署の指導の下、演習を行いました。大切な文化財は一度失われてしまうと取りかえしがつきません。普段からの防火につとめて参ります。



放水の様子

### 昔の北区の写真を探しています！

みなさんのお宅に古い写真はありますか？戦前から昭和50年代までの北区の町並みや、人々の暮らしぶりをうかがえるような写真がございましたら、それは北区の貴重な財産です。博物館までご一報ください。

来館者  
みなさんいつも  
ありがとうございます

## 学芸員リレーエッセイ 博物館いろは歌留多

北区飛鳥山博物館は今年の3月27日に開館15年の節目を迎えます。当館の来館者数はのべ100万人を突破していることはご存知でしょうか。都道府県立ではなく、市・区立の博物館としては非常に多い数字といえます。これからも皆様に愛される博物館であり続けるため、博物館職員一同より一層の努力を続けて参ります！

さて、博物館の機能のうち展示は欠かせません。北区の郷土風土博物館である当館は北区に関する多種多様な企画展を行ってきました。その際にはアンケートを実施し、お客様の展示へのご意見を伺うようにしています。こうした中でいただく暖かいご支援のお言葉は、何よりも励みになります。もちろん厳しいご意見も参考にさせていただいております。皆さまの声を取り入れつつ、当館らしい展示をしていきたいと考えております。

ちなみに来館者アンケートの中にはこのようなご意見も。「子ども向けに〇イズニーなどのアニメのキャラクターの展示を行ってほしい」確かに…来館者数は見込めるかもしれませんが、しかし、当館は北区の郷土風土博物館ですので、その内容を取り扱うのはちょっと難しいです…すみません。せめて北区に関係があればなあ。(人見)

## 利用のご案内

**【開館時間】**  
午前10時から午後5時  
※観覧券の発行は午後4時30分まで

**【休館日】**  
毎週月曜日  
(月曜日が国民の祝日・休日にあたる場合は開館し、直後の平日に振替休館)  
年末年始(12月28日～1月4日)  
このほかに臨時休館日があります。



- ・JR 京浜東北線 王子駅南口より徒歩5分
- ・地下鉄南北線 西ヶ原駅より徒歩7分
- ・都電荒川線 飛鳥山停留場より徒歩4分
- ・都バス 草64、王40系統 飛鳥山停留所より徒歩5分
- ・北区コミュニティバス 飛鳥山公園停留所より徒歩1分
- ※飛鳥山公園に隣接して有料駐車場がございます。
- ・小学生未満は無料
- ・団体扱いは20名以上
- ・三館共通券は当館のほか、渋沢史料館、紙の博物館をご覧ください。

**【常設展観覧料】**

	個人	団体	三館共通券
一般	300円	240円	720円
高齢者(65歳以上)	150円		
小・中・高	100円	80円	240円

## 平成25年度上半期の主な催し物

- 春期企画展「ボンジュール、ジャポン ゆかしくカワイイ、和のかたちと風景」(3/16～5/6)
- テーマ展示「オボエテマスカ?—あの暮らし・この道具 ver.2—」(3/16～6/23)
- ミュージアムトーク「常設展示の宝物たち・江戸の花見弁当」(4/13)
- 野外講座「陽春の谷田川通りを歩いて見よう!」(4/20)
- バックヤード・ツアー「博物館の裏側へようこそ!」(5/10、11、6/14、15)
- 講座「快読!江戸時代の村絵図」(5/12)
- スポット展示「滝野川の古文書紹介」・ミニ展示(民具の展示) (5/18～6/23)
- ミュージアムトーク「常設展示の宝物たち・日光山道中図絵の世界」(5/18)
- 野外講座「探訪!江戸名所図会の世界」(5/25・26 全2日)
- 野外講座「北区の石造物をよむ」(5/30)
- 野外講座「歴史発見! 街めぐり」(6/1)
- 映像企画「都電の記録映画と資料を楽しむ会」(6/2)
- 講座「太田道灌と二人の女」(6/8)
- 野外講座「赤レンガのふるさとを訪ねて」(6/9・16・21 全3日)
- ミュージアムトーク「常設展示の宝物たち・富士講の世界」(6/29)
- 野外講座「富士塚めぐり」(6/30)
- 臨時休館(燻蒸…資料の消毒) (7/2～5)
- 「夏休みわくわくミュージアム☆2013」(7/20～8/31)
  - ・3館まとめてクイズラリー「めざせ!飛鳥山クイズ王」
  - ・夏休み土器づくり教室・勾玉づくり教室
  - ・都電車庫見学会
  - ・江戸のおもちゃ「ずぼんぼ」を作ろう…etc
- 講座「第22回新聞から読む考古学」(7/21)
- ミュージアムトーク「常設展示の宝物たち・王子田楽資料」(7/27)
- ミュージアムトーク「常設展示の宝物たち」(8/24)
- 野外講座「考古楽講座 遺跡に行こう!」(9/7・8 全2日)
- 特別展覧会「第12回人間国宝奥山峰石と北区の工芸作家展」(9月中旬～10月中旬)
- ミュージアムトーク「常設展示の宝物たち」(9/23)

※催し物は仮称、()内の実施日は予定です。詳細は、当館発行の催し物案内、北区ニュース、ホームページをご覧ください。

## お知らせ

・館内消毒にともなう臨時休館  
収蔵資料を虫害やカビから守る殺虫・殺菌処理(燻蒸)にともない、7月2日(火)から5日(金)を臨時休館日(予定)とさせていただきます。詳細な日程は、北区ニュース、北区公式HP等でお知らせします。何とぞご理解のほど、よろしくお願いいたします。

## 編集後記

この冬はとても寒かったので、飛鳥山から春の気配を感じ始めてほっとしております。さて、ぼいす30号はいかがでしたか。開館以来毎年2回発行していた当誌。30という節目の号を迎えられたのも読者の皆様のおかげです。ちなみに、ぼいすのバックナンバーは全て当館のホームページから読むことができますので、お時間がありましたら、過去の号も覗いてみてくださいませ。

(人見)

北区飛鳥山博物館だより  
**ぼいす30**  
発行日 平成25年3月20日  
編集・発行 北区飛鳥山博物館  
〒114-0002 東京都北区王子1-1-3  
TEL. 03-3916-1133  
印刷 東京リスマチック株式会社